



両津小だより

両津小学校

H31. 1. 24

No. 1 0

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊200-1 電話 0259-27-3642
ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp/> Eメール ryoutsu-es@sado.ed.jp

自分の意見をもつ

校長 三浦一富

暖冬傾向といわれるこの冬ですが、時折、雪模様の厳しい日が訪れます。しかしながら、両津っ子たちは、勉強に、運動に、遊びに日々元気に活動しています。6年生がインフルエンザのため、学年閉鎖の措置を取りましたが、その後は、比較的落ち着いています。引き続き、うがい・手洗いの励行、咳エチケットとしてのマスク着用など、対策を進めていきます。どうぞ、ご家族の皆さんも健康管理にお気を付けてください。

さて、始業式の日、私は、子どもたちに『新潟日報』の「窓」という投書欄に掲載された、高校生の意見を紹介しました。タイトルは「よく考えて言葉発したい」(『新潟日報』2019.1.6)です。たった一言の言葉が、相手を嬉しい気持ちにさせたり、傷付けたりすることがある。だから、言葉は、相手に与える影響をよく考えて発しようという内容です。

私は、この投書欄の小・中・高校生の意見に、よく注目しています。子どもであっても、現状の社会情勢を踏まえ、また自分の身近に起こったことを題材に、自らを振り返り、鋭い視点から自分の意見表明をする。この姿勢に共感するからです。



両津っ子も、機会あるごとに様々な話合いに取り組んでいます。昨年11月には、両津中学校を会場に「いじめ見逃しゼロ全員集会」が行われました。6年生全員が参加し、「大切な存在としての自分 ～他者から大切にされる自分とは～」をテーマに、他校の6年生や中学生と意見を交流させました。

また、今月は、「私たちが心身ともに健康で生きていくために、ゲームやスマホとどのようにつきあっていったらよいか」をテーマにした、話合い活動がもたれます。その意見を集約して、両津中学校区の学校保健委員会(1月31日開催)で、代表の子どもから報告してもらうことになっています。

子どもを取り巻く環境は、めまぐるしく変化しています。そのような中、自分なりに意見をもつことの大切さを感じます。ご家庭でも、ニュースの話題等を取り上げて、お子さんと時々意見交換をしてみるといいのではないでしょうか。もしかしたら、子どもの感性に大人の方がびっくりという場面があるかもしれません。